

2014年8月13日

報道発表

「クアンビン省 Le Thuy 地区 The Dong Chau – Khe Nuoc Trong 森林における生態系保全および生態系サービス向上事業」の立ち上げ

クアンビン省ドンホイー2014年8月13日朝、サイゴンのクアンビン ホテルにて、ヴィエット・ネイチャー・コンサベーション・センターおよびクアンビン地方森林保護局は、「クアンビン省Le Thuy地区The Dong Chau – Khe Nuoc Trong 森林における生態系保全および生態系サービス向上事業」の立ち上げを発表しました。当事業は、30年計画で実施される予定で、最初の5年間（2014年～2019年）の活動資金として、3つの国際NGO（バードライフ・インターナショナル、国際自然保護連合オランダおよびワールド・ランド・トラスト）から約150万USドルの援助が決まりました。

当事業は、クアンビン省南西部およびクアンチ省北西部の湿性低地熱帯林の類まれない生物多様性の価値と生態系サービスが、恒久的に保たれることを全体目標とする技術援助事業です。この森の中心部の約2万ヘクタールは、現在、Dong Chau 水源涵養林管理委員会（クアンビン省Le Thuy地区）によって管理されています。この事業は、近隣の森林所有者の協力と参加のもと、Dong Chau 水源涵養林管理委員会が森林および生物多様性を保護していくための能力の育成を目的としています。当事業は、森林保全に関する法的措置への支援に加え、Dong Chau水源涵養林の地域住民の生活向上、持続可能な森林資源の管理および野生生物の密猟の削減等のための活動へ支援を行っていきます。

当事業の革新的かつ先駆的な面は、ベトナムで初めてとなる30年先までの長期的な森林資源の保護および管理のための資金が、ワールド・ランド・トラスト（英国のNGO）の“Carbon Balanced”プログラム※を通じ、民間の有志の炭素基金から動員されたことです。さらに、この事業は、森林保護の区分において、森林の特別利用・保護区制度の外で、生物多様性保護および管理を支援することが特徴であり、実質的に、森林の特別利用制度を広げることにより役立ちます。最後に重要な点として、この事業は、ベトナムで初めて、長期の生物多様性の研究および水源涵養林の保全のために、森林環境を借り上げる活動を含んでいることがあげられます。

また、この立ち上げで、ヴィエット・ネイチャー・コンサベーション・センターおよびクアンビン省森林保護局は、2011年から現在までにKhe Nuoc Trongで自動撮影カメラを使った生物多様性調査の結果、最近十数年の間にベトナムで発見された4種類の哺乳類が撮影されたことを発表しました。これは、科学的に新たな発見であり、当地域が世界的に、また、

ベトナムにおいても極めて生物多様性が豊かであるということが証明されました。撮影された4種類は、Saola (*Pseudoryx nghetinhensis*)、Large-antlered Muntjac (*Muntiacus vuquangensis*)、Annamite Muntjac (*Muntiacus truongsongensis*)、Annamite Stripped Rabbit (*Nesolagus timminsi*) です。カメラには哺乳類31種、鳥類24種、爬虫類2種の全部で57種類の野生生物が記録されましたが、そのうち8種は世界的に絶滅が危惧されている種です。特にサオラは絶滅寸前で、姿が撮影されたことは非常に貴重です。

サオラは、野生では十年以上も十分な目撃情報がありませんでしたが、ベトナムでは、2013年9月にクアンナム省サオラ自然保護区で撮影されました（世界自然保護基金とクアンナム省森林保護局の共同事業）。そして、今回、クアンビン省Khe Nuoc Trongにおいて2012年7月と2013年6月に撮影されたことを発表しました。

※ワールド・ランド・トラストの“Carbon Balanced”プログラム：

個人・企業をから排出される温室効果ガスのオフセットを、熱帯の炭素に富んだ野生生物の生息地の保護と復元を通じて可能にするプログラム。